

2135

0.2
燈台

締結關係	Q.162	保期 子	20	永
		發付迄 ()	完結迄 ()	永
		機種		

2136

軍務第一九號

軍務局長 第二課長 局員

昭和四年一月十八日 軍務局長 發布濟

燈臺局長宛

燈臺豫定位置ニ關スル件回答

竊年十一月二十八日附燈工第四一八五號ヲ以テ御照會ノ本件尤記理由ニ依リ樺島ニ変更設置スルヲ有利ト認メ候

記

一、島原海灣ニ對シテハ
出入港共明弧ノ關係上樺島ノ方絕對ニ有利ナリ
野母埼トセバ例令其ノ南端ニ設置スルモ五用礁ノ
光達外ニ於テ明弧ヲ離ル

海軍

水路關係

模造半葉十三行原紙

二、長崎ニ對シテハ

ハ出港

其ノ必要少キヲ以テ何レニスルモ其ノ關係ハ小

ナリ

(四) 入港

a 上海方面ヨリ來ルモノ

1. 伊五島燈臺光達距離外ニ於テハ野母埼ノ方

樣島ヨリ約ニ接近シ

2. 野母埼ノ方利用ノ範圍廣シ

以上二項野母埼ノ方有利ナルモ伊五島ヨリモ其ノ視

認時機ヲ早ムルハ其光達距離伊五島ト同等ニ

十一哩以上ノ場合ニ限ル。一旦伊五島燈光ヲ認メ

タル以後ハ其ノ必要ノ程度低下ス

海軍

模造半葉十三行野紙

古香港或... 臺灣東岸方面より来ルモノ

上海航路よりモ南偏シ伊五島燈光視認前

ニ之ヲ利用スル機會ハ多キモ四十度ニテ長崎

港口ニ向フトセバ其ノ光遠距離ヲ二十哩トシ

テ其ノ差一哩以内ナリ

シ南方より来ルモノ

大差ナク寧樟島ノ方初認時概早シ

三、九州西岸ヲ南北ニ航スルモノ

野母埼ノ方有利ナルモ其差小ナリ

四、三ツ瀬ニ就テ

三ツ瀬ハ之ヲ明孤外ニ置キ伊五島燈光ト共ニ之ヲ

明孤外ニ保ツモ避險ノ一法ナリ只視界約四哩

ナル時(三ツ瀬附近ニ於テ野母埼ハ視界内ニアルモ

模造半葉十三行昇紙

海軍

樺島及伊五島ハ視界外ナル特種ノ場合ハ野母
 塔ノ方絶対ニ有利ナリ
 但シ此ノ場合ヲ想像スルニ測深ヲ行ハズシテ長崎
 入港ヲ企圖スルモノニ非ザル限り水深四十尋ヲ
 測得セルニ伊五島燈光ヲ視認セズ尚東航ヲ継
 續スルモノナカルベシ
 要之長崎ニ入港及九州西岸ヲ南北ニ航スルモノニ對
 シテハ野母塔ヲ適當トスルモ樺島ニテモ亦其目
 的ヲ達シ得ルニ及シ島原海灣ニ出入スル船舶ニ對
 シテハ樺島ニ設置スルニ非ザレバ其ノ利用ノ範圍極
 メテ少シ
 故ニ樺島ニ設置スルヲ至當ト認ム

模造中葉十三行算紙

海軍

軍務局

2140

水第 一六〇〇 號

昭和三年十二月二十六日

第二課

軍務局 御中

水路部

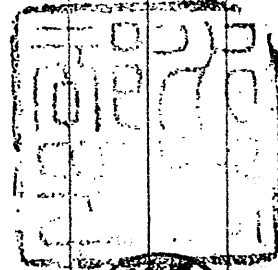
燈臺豫定位置ニ關スル件

十二月六日附附箋回覽ノ燈工第四一八五號ヲ依ル首題ニ關スル意見別紙ノ通

右回答ス

(別紙三葉添)

(檢)



3.12.27
受接

模造平葉十三行算紙(富井納)

海軍

別紙

燈臺豫定位置トシテ野母埼、樺島ノ何レヲ可トスルヤ

一、島原海灣ニ對シテハ

出入港共明弧ノ關係上樺島ノ方絕對ニ有利ナリ、野母埼トセバ例令其ノ南端ニ設置スルモ五通礁ノ光達外ニ於テ明弧ヲ離ル

二、長崎ニ對シテハ

(イ) 出港

其ノ必要少キヲ以テ何レニスルモ其ノ關スル處小ナリ

(ロ) 入港

a 上海方面ヨリ來ルモノ

ノ伊弉島燈臺光達距離外ニ於テハ野母埼ノ方樺島ヨリ約二哩近シ

ス。野母埼ノ方利用ノ範圍廣シ

以上二項野母埼ノ方有利ナルモ伊弉島ヨリモ其ノ視認時機ヲ早ムハ其ノ光達距離

海軍

模造半葉十三行單紙(富井納)

離伊王島ト同等(二十一湮)以上ノ場合ニ限ル、一旦伊王島燈光ヲ認メタル以
後ハ其ノ必要ノ程度低下ス

b 香港或ハ臺灣東岸方面ヨリ來ルモノ

上海航路ヨリモ南偏シ伊王島燈光視認前ニ之ヲ利用スル機會ハ多キモ四十度
ニテ長崎港口ニ向フトセバ其ノ光達距離ヲ二十湮トシテ其ノ差一湮以内ナリ

c 南方ヨリ來ルモノ

大差ナク寧樺島ノ方初認時機早シ

三、九州西岸ヲ南北ニ航スルモノ

野母埼ノ方有利ナルモ其ノ差小ナリ

四、三ツ瀬ニ就テ

三ツ瀬ハ之ヲ明弧外ニ置キ伊王島燈光ト共ニ之ヲ明弧外ニ保ツモ避險ノ一法ナリ

只視界約四湮ナル時(三ツ瀬附近ニ於テ野母埼ハ視界内ニアルモ樺島及伊王島ハ

視界外ナル特種ノ場合)ハ野母埼ノ方絶對ニ有利ナリ

海軍

模造半葉十三行界紙(富井館)

但シ此ノ場合ヲ想像スルニ測深ヲ行ハズシテ長崎入港ヲ企圖スルモノニ非ザル限リ
リ水深四十尋ヲ測得セルニ伊王島燈光ヲ視認セス尙東航ヲ繼續スルモノナカルベ
シ

要之 長崎ニ入港及九州西岸ヲ南北ニ航スルモノニ對シテハ對母崎ヲ適當トスルモ
樺島ニテモ亦其ノ目的ヲ達シ得ルニ反シ島原海灣ニ出入スル船舶ニ對シテハ樺島ニ
設置スルニ非ザレバ其ノ利用ノ範圍極テ少シ

故ニ當部トシテ先ツ樺島ニ設置スルヲ至當ト認ム

海軍

燈工第四一八五號

照會

昭和三年十一月廿八日

共第四號

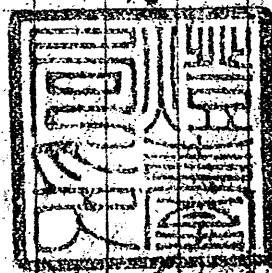
航路標識管理所

海軍省 第二課

海軍省 燈臺局長 中

燈臺豫定位置ニ關スル件

燈臺局



水路部 2144

巽ニ燈臺豫定地トシテ撰出御答申ヲ得タル三十ヶ所ハ孰モ急設計畫中ノ處右ノ内
 野母崎ハ燈臺位置トシテ樺島ヲ適當トスル意見有之候兩地ヲ比較スルニ明弧ニ於
 テハ大略野母崎一四四度ヨリ四二二度ニ至ルニ至ル二五八度間、樺島六〇度ヨリ三〇三度
 ニ至ルニ四三度間ナルモ方向ヲ異ニシ各一長一短アリ從ツテ其ノ航路ニヨリ船舶
 ニ取リテモ自ラ利害關係異ル次第ニ候結局大勢上何レヲ採ルヲ得策有利トスル
 事由ヲ添へ御意見承リ被及御依頼候

第一班

高 3.12.24 不

昭和二七年 燈臺局

水路部 3.12.24 受

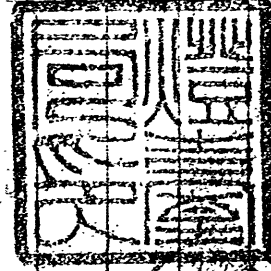
昭和二年十二月廿九日

記理由係ノ樺島
 野母崎ニ設置セシメ
 ノ明弧ト重複ス
 九州西岸ヲ南北ニ
 概不同等ナル島
 設置ス方利用トス

航路標識管理所

八日

局



設計畫中ノ處右ノ内
比較スルニ明弧ニ於
六〇度ヨリ三〇三度
其ノ航路ニヨリ船舶
ヲ得策有利トスル

昭和二七、錦昌堂

水部 3.12 受

昭和三年十二月廿九日

海軍軍令部第一班

左記理由依リ樺島ニ設置スルヲ有利ト認ム

一 野母崎ニ設置セバ是燈台、明弧大半ハ既存伊豆島燈台ノ明弧ト重複ス

二 九州西岸ヲ南北ニ沿航スル船舶ニ取テハ西者ノ利用程度概不同等瓦尾島原梅島ニ出入ル船舶ニ取テハ樺島ニ設置ス方利用ノ度大ナリ

2145

航路標識管理所

八日

昭和二十七年七月七日

8

昭和二十七年七月七日

海軍省軍務局

水路部
本件ニ関スル件
御意
御返事相煩
没

2146

4512

編 號	Q/62	係 期	3	20	永
關 係		機 期	發付迄	完結迄	永
		機 種			

軍務第九五號ノ四

軍務局長

第二課長

局員

昭和四年三月十九日
燈臺局長宛
發付

燈臺塗色改善ニ関スル件回答

三月五日附燈工第六七。號ヲ以テ御照會ノ

首題ノ件ニ関シ別紙ノ通リノ意見有之候

條改善方御取計相成度

追テ本件ハ後東管船局ヘモ照會致シ居ラス

候

終

海軍

復造半葉十三行紙

軍務局

2148

大要第 六〇 號ノ七

昭和四年三月十六日

第二課

海軍省軍務局第二課長殿

大 湊 安 港 部 參 謀 長



燈臺塗色變更ニ關スル件回答

軍務二第九五號ノ二ヲ以テ御照會ノ首題ノ件別紙ノ通ニ有之候

猶本年軍艦滿州津輕海峽測量ニ際シテモ雪中汐首燈臺ノ認識不可能ナル
爲測量中旗章ノ掲揚ヲ依頼シタル例モ有之降雪時當地方ノ白色燈臺ニ關
シテハ晝間其發見ニハ至大ノ困難ヲ經驗シ居候條至急之ガ改善方御配慮
相成度

(別紙添)

(終)

軍務二第九五號ノ三

海軍



(別紙)

大正十四年度第十八驅逐隊耐寒巡航報告

當地方ニ於テハ^{冬季ハ}陸標全部白雪ニ蔽ヘル、ヲ以テ燈臺ヲ晝間目標トスル
場合白塗ノモノハ識別困難ナルニ付白色ノ背景ニ對シ識別シ易キ様塗
換フルノ必要ヲ痛感ス

大正十五年度第四驅逐隊耐寒巡航報告

冬季積雪中ノ燈臺ハ晝間識別困難ナリ最モ明瞭ニ見エシハ落石燈臺ニ
シテ黑白ノ塗リ分ケ燈臺ナリキ

昭和二年度第二驅逐隊耐寒巡航報告

積雪中ニ在リテハ白色ノ燈臺ハ晝間視認著シク困難ヲ感ズ例セバ明神
鼻沙首岬ノ燈臺等ノ如シ

夏季ヲモ願慮シ赤色ニ塗粧セバ晝間モ識別容易ナルベシ

昭和三年度第二驅逐隊耐寒巡航報告

陸標全部白雪ニ蔽ハル、ヲ以テ燈臺ハ其ノ白色ノモノハ識別極メテ困難ナルヲ以テ白ノ背景ニ對シ識別シ易キ白黒又ハ黒色等ニ塗換フル必
要ヲ認ム

(終)

昭和四年軍艦滿州意見

本年初津輕海峽行動中雪中ハ汐首燈臺ノ認識不可能ナル爲測量中旗章ノ掲揚ヲ依頼シタル實例アリ降雪時東北地方及北海道方面ノ白色燈臺ハ晝間發見ニハ至大ノ困難アリ

軍務年九五號之

第二課長



局長



昭和四年三月十一日軍務局第二課長

大要参謀長宛

燈臺塗色改善ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ別紙寫ノ通リ燈臺局長ヨリ照會ニ接シ候處關係書類當局ニ見當ラザルニ付最近三ヶ年間ニ於ケル貴官提出ニ係ル本件ニ關スル意見書寫ニ通御送付相煩度
(別紙寫一通添)

終

海軍

模造半葉十三行異紙

子一川
④

軍務局

第二課

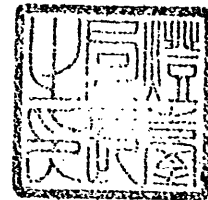
海軍省軍務局長 殿

燈工第六七〇號

照會

昭和四年三月五日

燈臺局長



燈臺局

燈臺塗色改善ニ關スル件

本件ニ關シ從來大湊要港司令官ヨリ屢々貴局ヲ經テ意見提出ノ旨ヲ以テ至
急實行方照會ニ接シ候處右意見書ハ當局ニ受理シタル形跡無之貴局ヨリ遞
信省(管船局)へ御照會相成候義ナルヤ乍御手数該關係書類寫御送付煩度
追テ本^件應大湊要港部へ及依頼候處毎年驅逐隊冬期巡航報告中參謀長ヨ
リ意見書提出アルヲ以テ直接貴局へ承合方回示有之候爲念

2152

軍務 第九五號

第二課
4.3.7
受接